

始良校区 コミュニティ協議会だより

発行 令和6年7月1日
号数 第28号
事務所 始良市西餅田3311-1
(始良市働く女性の家内)
電話 73-8389 (火、木、金)

地域貢献の思い

会長 大浦地 政廣

昨年の今頃、南日本新聞のひろば欄に「地域貢献の思い」を投稿し、掲載されました。始良校区内の各自治会には優れた方がお住まいですが、自治会長のなり手が少ないのが残念です。

確かに、社会情勢として家族中心で隣近所の付き合いが少なくなったとか、世代間の意見の一致が見出せないこともあるかとは思いますが、お互いに譲り合って、地域の連帯を深められないものかと思うところです。

生成AIの急速な発達、人の考え方や地域の連帯感にも、社会生活全体にも大きな影響を及ぼすことになるかと予想されます。

私は小さいころ地域の皆さんにお世話になって育ちました。今、その方たちに恩返しはできませんが、住んでいるところで何がしかの貢献ができればとの思いで、コミュニティの仕事や、地域の方への声かけ、公園の草刈り等行ってきました。

校区コミュニティの業務も長くなりましたので、別な方面から地域に貢献していきたいと思うところです。今後新進気鋭の方が、新しい考え方で「地域づくりプラン」の見直しや「事業の運営」に参加され、絆の強いコミュニティになることを期待しています。

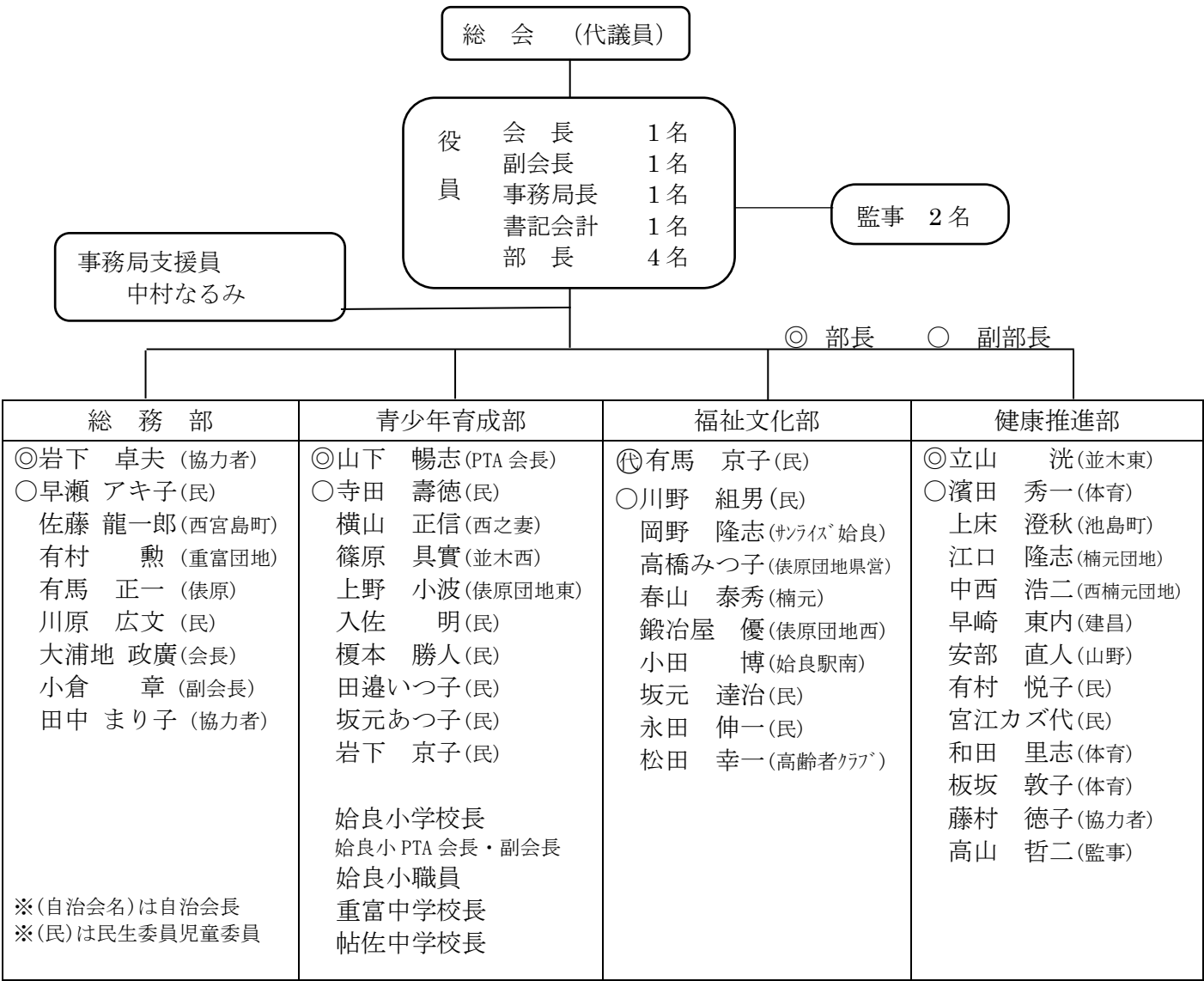
◇ 令和6年度の役員体制

会 長	大浦地 政廣	青少年育成部長	山下 暢志	監 事	岡野 隆志
副会長（兼事務局長）	小倉 章	福祉文化部長代行	有馬 京子	監 事	高山 哲二
総務部長	岩下 卓夫	健康推進部長	立山 洸		

◇ 令和6年度 主な活動計画

総 務 部	青少年育成部	福祉文化部	健康推進部
・広報活動（未加入者対策） ・広報誌の発行（7月・12月・3月） ・各団体との連絡調整 ・自治会事業との調整 ・市への要望書提出 ・地域防災活動 ・環境美化活動 ・思川美化活動支援 ・国立公園ボランティア ・PTA活動支援 ・企画提案型活性化事業	・重富海岸干潟の体験勉強会 ・和菓子作り ・ミニ門松作り ・ふれあい活動（3年生） ・夏の郷土に学び育む青少年運動 ・秋の郷土に学び育む青少年運動 ・あいさつ運動 ・子ども見守り活動 ・スクールゾーン対策委員会 ・始良小田植え体験支援（5年生）	・芸術作品展 ・文化祭 ・始良駅前環境整備 ・イルミネーションの設置 ・赤い羽根共同募金活動 	・健康づくり講演会 6月9日 ・ドッジボール大会 7月28日 ・ニュースポーツ大会（2種目） 8月25日 ・健康支援グラウンド・ゴルフ大会 10月17日 ・ペタンク大会 10月27日 ・三世代交流グラウンドゴルフ大会 11月10日 ・第8回ウォーキング大会 2月16日 ・校区対抗スポーツ大会（グラウンドゴルフ・ペタンク） 3月16日 ・健康づくりコーディネーターの活動

◇ 令和6年度 始良校区コミュニティ協議会組織



◇ 令和6年度収支予算

単位（円）

収 入 の 部			支 出 の 部		
区 分	予 算 額	内 訳 等	区 分	予 算 額	内 訳 等
繰越金	2,345,466	繰越金	事務費	574,000	役員手当、役務費他
市補助金	1,300,000	始良市交付金	総務部	380,000	印刷、広報活動費他
他団体補助金	15,000	社会福祉協議会	青少年育成部	175,000	門松作り、菓子作り他
支援金	170,000	自治会支援金	福祉文化部	235,000	芸術作品展、文化祭他
雑収入	10,000	寄付金他	健康推進部	268,000	グラウンドゴルフ他
			予備費	1,208,466	
			特別会計	1,000,000	自然災害等の不測の事態に備える
計	3,840,466		計	3,840,466	

スローガン（将来像）

緑あふれる自然と人とが調和し豊かな心を育む始良校区
～子どもから高齢者まで、みんなにやさしい安心安全な地域づくり～

始良校区まちづくりプランから

たてまさ

建昌地域の「モグラ打ち」について

モグラ打ちは、古くから九州の各県のそれぞれの地域で、家内安全や五穀豊穡を祈願して、小正月の1月14日頃に行われていた伝統行事です。

建昌地域では、1.5m位の竹の棒に0.5m位に藁を巻いた地面をたたき棒を持って、2歳位から6年生の子ども達が各家を回って、その家の庭先で「今日はモグラ打ちの晩じゃ！ 栗餅やいらんで、米餅くいやい！」と歌いながら地面をたたいて、農作物に被害を与えるモグラを追い出す行事が行われました。

各家庭でも子ども達が来るのを楽しみに待っていて、子ども達が来たことをとても喜んで、お土産の準備がしてありました。

「伝統行事だから、ずっと続けていって欲しい。毎年楽しみにしている。」という地域の方の言葉を聞きました。地域の方も伝統行事を暖かく見守ってくださっていることが印象的でした。

又、地域の皆さんの子ども達への期待や地域の皆さんの絆を感じることができました。

(大浦地 政廣)



始良っ子・明るく元気に・大空へ

毎年恒例となってきた思川の河川敷に掲揚される鯉のぼり。5月4日、鯉のぼり展示セレモニー「始良っ子・明るく元気に・大空へ」が行われました。今年も子どもたちには菓子パンや風船のプレゼントがあり、大鍋による500食分の豚汁の振舞いや、ポニーによる馬踊り、和太鼓の演奏などが行われました。また、夜には露店が並び鯉のぼりのライトアップやイルミネーション、初めてとなる花火が思川の中から打ち上げられ、延べ3,000人を超える観客でにぎわいました。

(思川水系美化・浄化対策委員会 和田里志)



あいさつ運動

始良小では「思いやりの心を育む」や「感謝の気持ちをもって門礼をする」ことに取り組んでいます。4月9日(火)朝7:00~8:00まで民生委員児童委員のみなさんが、始良小の東門や西門で、大きな声で「おはようございます。」と、子ども達一人一人に声をかけてふれあい活動を行いました。

(会長 大浦地 政廣)



地域防災活動の実施について

始良校区コミュニティ協議会では、他人事ではない自然災害への心得や対応等を学ぶため、令和6年5月26日（日）市高齢者福祉センターにて、始良市社会福祉協議会の皆様方の協力による「炊き出し訓練」と鹿児島大学共通教育センター准教授の井村隆介先生による「地域防災のあり方」についての講演会に、校区民66名が参加して開催しました。

先ず、社協の皆さんの指導の下、災害時に衛生的であたたかいごはんを食べることができる非常食：専用のポリ袋に、お米ときれいな水を同じ量（80g）入れて準備し、講演会の間に大鍋で蒸してもらい、最後に試食しました。

講演会では、井村先生による「地域防災のあり方 ～みんなが考える防災～」について、各地で起こった地震や噴火などによる災害の記録や教訓を交えての講話がありました。

その中で、防災はみんなが自分で考えるべきもので、誰かが助けてくれるだろうと考えずに、どうすべきか自身で考えて行動しなければならない。事前に家族で話し合っておくことも必要。他人に頼らずに自分で動くことを普段から考えておくべきです。

大正3年の桜島大噴火についてその様子を記した柁城小学校にある石碑には、加治木の人たちは横川・栗野方面に逃げたと書かれてある。また、桜島の噴火による火山灰等の噴出量は、平年は年間500万トンだが、大正3年の大噴火の際は、その100倍500億トン噴出している。想像できない規模の大噴火であった。桜島は絶えず噴火しているので地震は無いと思われているが大正噴火前と同じぐらいマグマが溜まってきており、何時大噴火が起こってもおかしくないと言われており、大噴火が起きると地震・津波が襲ってきます。

その他、自助・共助・公助が大事ですと呼びかけているが、災害時は自助が7割、共助が約3割、公助は0.1割で、自助が大事で自分の命を守ってから共助にいきましょう。共助を前提にした避難行動計画をしてはいけません。また、若い人に支援を求める避難訓練はやるべきではない。避難の際は、財産等捨てていく覚悟でなければならない等々提言をいただきました。（総務部 岩下 卓夫）



「第9回芸術作品展」と「文化祭」のお知らせ

【第9回芸術作品展】

10月に作品を募集して、11月に展示をする予定です。募集作品の種類及び募集期間・作品の展示期間等については、後日回覧でお知らせいたします。皆様のご出品をお願いいたします。

【文化祭】

今回初めての試みとして11月2日（土）に皆様のお知恵をいただきながら文化祭を実施する方向で計画中です。校区内の皆様に出演及び鑑賞をしていただき、交流の場になることを願っています。

（福祉文化部 有馬 京子）

記事を募集しています

始良校区コミュニティでは、年3回「コミュニティだより」を発行しています。

校区内の様々な出来事を幅広くお知らせしていきたいと思っています。「こんなうれしいことがあった」「こんなすばらしい事があった」また、元気な高齢者の紹介や児童生徒のがんばる姿も伝えていきたいと思っています。様々な情報をお寄せください。また、取材にもお伺いいたしますのでご一報くだされば係り方からお伺いいたします。

みんなで充実した内容の校区コミュニティだよりを作っていきましょう。

連絡先 始良市西餅田3311-1（始良市働く女性の家内） 始良校区コミュニティ協議会事務局

TEL 73-8389（火、木、金） FAX 73-8395

Eメール aira-aikomi@po5.synapse.ne.jp